

徳島森林管理署 とくしま通信



シラクチカズラの育苗に向けた取組を支援

徳島森林管理署では、「木の文化」を支える取組として、祖谷のかずら橋・架け替え資材確保実行委員会が実施した「シラクチカズラ苗木づくり」(三好市祖谷ふれあい公園にて7月19日開催)において、参加した小・中学校の児童・生徒を対象に森林環境教育を行いました。森林環境教育では、森林の働き、木材利用の大切さのほかに、地域の木の文化の象徴でもあるかずら橋の架け替え資材を確保するための活動がいかに地域にとって重要であるかなどについて説明を行い、苗木づくりに参加した児童・生徒らは真剣に講義を聴き、その後、実行委員会のメンバーの指導の下、シラクチカズラの苗木づくりに汗を流しました。



森での活動の重要性について説明



シラクチカズラ(4年経過)



シラクチカズラの押し木



森の働きについて講義



四国森林管理局挨拶



徳島県農林水産副部長挨拶



徳島県からの賛同



会議の様子

徳島県との林政協議会を開催

徳島森林管理署では、去る7月29日、徳島県庁において、徳島県との林政協議会を行いました。

この協議会は、平成25年度から行っているもので、4回目となる今年度の協議会では、徳島県、四国森林管理局、徳島署の取組みや、全国的に喫緊の課題となっているニホンジカの食害対策、今春開講した「とくしま林業アカデミー」、県立那賀高校「森林クリエイト科」への支援など、多岐にわたる項目について情報・意見交換を行いました。特に、ニホンジカの食害対策については、民国連携した捕獲(時期、区域など)が重要であることや、継続した人材育成のための支援などについて、活発な意見が交わされました。

治山技術の向上に向けた現地検討会を実施

徳島森林管理署では、去る7月27、28日の両日、治山事業の技術向上を図ることを目的とした研修(現地検討会)を嶺北署、高知中部署、安芸署と徳島署の治山担当総勢22名を集めて行いました。徳島森林管理署管内では、三好市祖谷地区と那賀町阿津江地区で民有林直轄治山事業(地すべり事業)を行っており、今回の研修は、三好市祖谷の西山地区で実際に施工している地すべりの機構調査の現場を教材に、施工上の工夫、問題点の抽出など、専門的・技術的に深く検討を行いました。このように、徳島森林管理署では、**地域住民の安全・安心のため**、日々、工事を通じた技術向上に加え、現場での研修による更なる技術の向上に努めています。



徳島署担当者の説明



機構調査現場



現場で地すべり計を確認



2日目:真剣に議論



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
 TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

